

会 議 録

会議の名称	令和4年度第4回本庄市総合教育会議		
開催日時	令和5年2月22日(水)	午前・午後	9時30分から 11時まで
開催場所	本庄市役所 庁議室		
出席者	<p>【構成員】 吉田市長、下野戸教育長、岡崎教育長職務代理者、落合委員、今井委員、高橋委員</p> <p>【教育委員会事務局】 高橋教育委員会事務局長、笠原参事兼教育総務課長、岡芹学校教育課長、原生涯学習課長、塩原スポーツ推進課長、新井教育総務課副参事、柳教育総務課長補佐、瀧澤学校教育課長補佐、学校教育課櫻井指導主事</p> <p>【事務局】 内田企画財政部長、橋本企画課長、鈴木企画課長補佐、企画課坂口主査</p>		
議題 (次第)	1 開 会 2 市長挨拶 3 教育長挨拶 4 議 題 ①次期教育大綱(案)について(協議) ②部活動の地域移行について(意見交換) 5 その他 6 閉 会		
配付資料	・次第 ・資料1-1:次期本庄市教育大綱(案)(令和5年度~令和9年度) ・資料1-2:前回からの修正箇所 ・資料1-3:本庄市教育大綱(平成30年度~平成34年度) ・資料2-1:部活動に関する教職員アンケート調査結果 ・資料2-2:学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン【概要】		
その他特記事項			
主管課	企画財政部企画課		

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>皆様こんにちは。本日はお忙しいところ、令和4年度第4回本庄市総合教育会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。司会を務めさせていただきます、企画財政部企画課の橋本と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これより会議を始めさせていただきます。なお、本日は傍聴の希望者が3人おります。本庄市総合教育会議運営要綱第9条に従って、傍聴希望の手続きを行い入室していただいておりますので、ご了承願います。</p> <p>次第の2、市長挨拶でございます。本庄市長よりお願いいたします。</p>
市長	<p>皆様おはようございます。本日は、第4回本庄市総合教育会議にお集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>私は、文部科学省が管轄する中央教育審議会のある部会の委員をしております。その中でも総合教育会議のことは話題になっており、各自治体で総合教育会議がどれくらい開催されているかという統計調査がございました。調査結果によると、年に1回程度しか開催されていない自治体が多く、本庄市のように年に3回以上開催している自治体はあまり多くないようでございます。</p> <p>平成27年に法律が改正され、市長部局と教育委員会が連携して、地域の教育を進めていくということが定められました。市長部局と教育委員会の連携につきましては、法律改正前から行っていたことではありますが、緊急事態等が発生した場合はもちろん、教育全般につきましても、学校の施設の問題など様々な課題がございます。</p> <p>総合教育会議の場において情報交換を行いながら、政策を進めていくことの重要性が全国的に認識され始めておりますが、まだまだ連携が進んでない状況も、私自身感じたところでございます。今後も、総合教育会議を年に3回あるいは4回と開催する中で、市長部局と教育委員会の連携をしっかりと図っていきたいと考えております。</p> <p>本日の議題は、「次期教育大綱（案）について」、そして、「部活動の地域移行について」ということでございます。いずれも大変重要な案件でございます。また、本日は傍聴の方が3名いらっしゃいます。それだけ、教育に対する関心が高まっているということかと思っております。</p> <p>部活動の地域移行につきましては、全国的にも大きな課題として認識されております。全国市長会においては、「地域移行」よりも「地域展開」が言葉としてふさわしいのではないかという議論を行っているところでございます。</p> <p>単純に、学校の部活を地域に移行すれば良いということではなくて、先生方の働き方改革の問題や、種目によっては1校で部活動ができない状況が発生しておりますので、地域のご協力をいただきなが</p>

	<p>ら、子供達の放課後の最適化を図っていくことが大切だと捉えております。皆様方からも忌憚のないご意見を頂戴する中で、本庄市としての方向性が見出せるよう、よろしく願い申し上げまして、簡単ではございますが冒頭のご挨拶とさせていただきます。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。続きまして、次第の3、教育長挨拶でございます。下野戸教育長よりお願いいたします。</p>
下野戸教育長	<p>皆様おはようございます。今、市長のお話を聞きながら、本庄市では総合教育会議が数多く開催されているということで、本当に素晴らしいことだと思いました。</p> <p>私が埼玉県教育委員会におりました時は、年に2回開催していたような記憶があります。教育は子供達だけの問題ではありませんので、市全体で話し合うことが大切だと思っています。</p> <p>部活動の地域移行は難しい問題で、学校教育の中で部活動が果たしてきた役割が大きいということは、教職員もみな、認識しているところでございます。</p> <p>地域や学校や子供達にとってどのような形が良いのか、皆様からご意見をいただきながら進めていきたいと思っております。また、放課後の子供の居場所ということも、キーワードの1つだと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (企画課長)	<p>ありがとうございました。それではここで、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>①本日の次第 ②資料1-1：次期本庄市教育大綱（案）（令和5年度～令和9年度） ③資料1-2：前回からの修正箇所 ④資料1-3：本庄市教育大綱（平成30年度～平成34年度） ⑤資料2-1：部活動に関する教職員アンケート調査結果 ⑥資料2-2：学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン【概要】</p> <p>以上、6点でございます。</p> <p>それでは、これより議題に入らせていただきます。本庄市総合教育会議運営要綱第4条第1項の規定により、市長が本会議の議長となることとされております。これからの議事の進行につきましては、吉田市長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>それでは要綱に基づき、議事の進行をさせていただきます。会議のスムーズな進行にご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議録でございますが、本庄市総合教育会議運営要綱第7条第2項の規定により、「会議録には、市長及び市長が指名する1人の構成員が署名するものとする」とあります。本日の会議録につきましては、私と下野戸教育長が署名するというところでよろしいでしょうか。</p>

	<p>(異議なし)</p> <p>それでは、事務局にて作成された会議録につきましては、本日出席の皆様にご確認いただいた後に、私と下野戸教育長で署名を行うことといたします。</p> <p>議事に入らせていただきます。「議題（１）次期教育大綱（案）について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
【議題】（１）次期教育大綱（案）について	
事務局 (鈴木企画 課長補佐)	(資料に基づき説明)
市長	<p>ただいま説明があった通り、前回の会議で委員の皆様から色々なご意見を頂戴し、その内容を踏まえて事務局の方で修正させていただいたということです。皆様からご意見・ご質問等ございますでしょうか。</p> <p>特にご異論が無ければ、案の通り決定したいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p> <p>それでは、皆様にご了承いただきましたので、案の通り決定させていただきます。活発なご議論をいただきましたことに、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>続きまして、「議題（２）部活動の地域移行について」事務局から説明をお願いします。</p>
【議題】（２）部活動の地域移行について	
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	(資料に基づき説明)
市長	<p>教職員アンケートの結果等も踏まえて、現時点での状況報告ということでお話をいただきました。今後の方向性についても議論したいと考えますが、まず皆様方からご意見・ご質問等ございますでしょうか。</p>
岡崎教育長 職務代理者	<p>スケジュールにつきましては、国の方から何年間で実施するといったガイドラインのようなものがあったかと思いますが、現状でその辺りの見直しがあったのでしょうか。</p>
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	<p>元々は、国の方から令和５年度から令和７年度までに部活動の地域移行を完了させるということでスタートしましたが、今回、令和５年度から令和７年度までの３年間で改革推進期間とするという内容に変わりました。</p> <p>３年間で全てを完了させるということではなく、スケジュールは地域の実情に応じて段階的に考えるということになり、可能な</p>

	限り早期の実現を目指すとは書かれておりますが、縛りは緩くなったと思います。
市長	ありがとうございます。その他に何かございますか。
高橋委員	<p>資料2-1のアンケートは、2週間の期間で本当に良く集計できていると思います。ChromebookのGoogle Formsで集計したそうですが、非常に効率的に100%の回答が得られたということで、まずは事務局を評価させていただきます。</p> <p>このアンケートについて、何点かお話しさせていただきます。Q4の回答のグラフですが、運動部と文化部の区別が無く、並び順がバラバラなので、見やすくしていただけるとよろしいかと思えます。Q5を見ますと、顧問のうち半分は競技等の経験者、半分は未経験者ということで、指導においても難しい部分を抱えていると感じました。</p> <p>それから、Q7を見ますと、部活動を負担と感じている先生方が4分の3いるということです。Q11には「どのような条件が気になりますか」という設問がありますが、勤務時間も関係していると思います。</p> <p>先生方の長時間勤務について、改善に向けて国も地方自治体も努力していると思いますが、例えばQ11の選択肢の中に、休日に指導した場合、代休を取得できるかといった項目があれば、より良いアンケートになったと思います。</p> <p>最終的には、先生方の勤務時間をどのように処理していくのかという点が、一番気になっております。</p>
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	<p>まず、アンケート調査結果のQ4の回答の部分が見づらくなっており、申し訳ございませんでした。Google Formsでアンケートの集計を行いました。Google Forms上では回答の順番を修正することができず、見やすいグラフを作成するには回答のデータを移して集計し直す必要があったため、このままになってしまいました。</p> <p>次に、先生方の負担についてですが、休日の部活動の地域移行後、先生方が地域の指導者となった場合の取扱いにつきましては、今後検討が必要となっております。</p> <p>先生方には、教職員としての仕事があります。地域の指導者として、週末の部活動の指導を行う場合は、現在のところ、兼職兼業の届け出を行うこととなると思われれます。</p> <p>教職員としての勤務時間と地域の指導者としての勤務時間を合わせた場合に、労働時間の規定を超えてしまうと良くありませんので、その点につきましても、検討すべき課題だと捉えております。</p>
高橋委員	分かりました。
市長	ありがとうございます。その他に何かございますか。

今井委員	文部科学省が示したガイドラインの中で、地域の指導者に対する研修制度に関しては、まだ明確にされていないのでしょうか。
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	地域の指導者にどういった方を選ぶのか、また、研修制度については非常に大事なものと捉えておりますが、現時点ではまだ決まっておりません。
市長	ありがとうございます。その他に何かございますか。
落合委員	アンケートの集計、ご苦労様でした。 せつかくですので、クロス集計していただければと思う設問があります。まずは、Q1の「年齢」とQ7の「部活動の指導に負担を感じていますか」という設問、さらに、Q8の「どのようなところに負担を感じていますか」という設問との関連が見えると良いと思います。 子供が小さいうちに、家族生活を大切にしたいという考えを持っている先生がいらっしゃいます。自分の生活と教職員の業務に加えて部活動の指導があるという状況で、大変な思いをされている方もいらっしゃいます。 アンケートをクロス集計し、結果を分析することによって、外部指導者をどのように入れていったら良いか、あるいは報酬を加算できるかといった点について、しっかりと考えていく必要があります。 先生方に、部活動の顧問になりたくないと思われぬよう、先生方の生活やプライベートの充実という視点を持って、今後の具体的な取組につなげていただければと思います。
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	クロス集計等も活用していきたいと思います。委員がおっしゃるように、アンケートの自由記述の中に、「自分の子供が小さいうちに早く土日に休みが欲しい」といった意見がありますので、年齢によって負担感も違うと感じております。
市長	確かに、年齢によって違いますね。
教育長	補足でお話しさせていただきます。クロス集計をすれば、年齢による負担感の違いがはっきり見えてくると思います。 時代の変化もありますが、若い先生方が自分の子供が小さいうちに家族との時間を大切にしたいと思うことは当然です。現在の部活動方針では、土日どちらかは必ず休むことになっており、以前に比べれば先生方の働き方、あるいは子供達の休養という意味でも、少しずつ改善されてきていると思います。 しかし、先生方のうち4分の3は負担に感じているということですので、部活動の指導が無ければもっと授業の準備に力を入れることができる、あるいは、もっと子供たちに寄り添うことができると思っている先生方がいることも事実だと思います。 ただ、部活動は自分の興味や思いによって所属している集まりですので、そこでの先生との関わりや志を同じくするお友達との関わりでは、教室の中では見られない違う顔があります。部活動

	<p>は子供達の成長につながっていますので、地域移行は本当に難しい問題です。</p> <p>部活動を学校から完全に切り離すことは、活動場所の面からも困難だと思いますし、先生方も、本当に全部切り離したいのかというと、そうではないのかなと感じています。</p>
市長	<p>おっしゃる通りですね。部活動の地域移行といっても、0か100かという極端な話はできないと思います。</p> <p>質疑も大切でございますが、委員の皆様方からこの点についてはこうした方が良いのではないかと、といった将来に向けてのご意見を伺えればと思います。</p> <p>ある程度、フリートークが無いと物事は先に進みません。ここでの発言は議事録に載りますし、公開されるものでございますが、1人の発言によって決定されるということではありませんので、ぜひ忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。いかがでしょうか。</p>
今井委員	<p>現状を改善するという視点ではなく、将来的にはどのようなあり方が望ましいかという、将来に向けた視点で考えるべきだと思います。ガイドラインの3ページに、休日の地域クラブ活動のあり方のパターンが書かれていますが、スポーツでも団体競技と個人競技では違いますし、全てがこのパターンに当てはまるわけではありません。</p> <p>現在、サッカー部などで1校だけでは活動ができない状況が発生していますが、今後、このような部活動が増えていく可能性があります。まず、今後の本庄市の学校教育をどうしていくかという方向性を持って、その中の1つとして部活動の地域移行についても意見をまとめていくと良いのかなと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。今井委員からご意見をいただいたことに関連して、私からもお話ししたいことがあります。</p> <p>まず、部活動のベースとなる中学校についてですが、市内の公立の4中学校は、しばらく統廃合することは無いでしょう。</p> <p>それを前提とした上で、団体スポーツでは民間のクラブチームがいくつかありますが、部活動については、野球部やサッカー部で学校が単独でチームの人数を揃えられなくなり、3校合同で試合に出ているという状況があります。そういった意味では、団体スポーツについては、既に現場の先生方が工夫しながら存続させているというのが現状です。</p> <p>私が問いかけたいのは、人数が足りない学校同士が集まって、その都度チームを結成する方法が本当に良いのかどうかということです。人数が増えれば、すぐに1校だけでチームを作り直すことになっています。</p> <p>例えば、A校とB校は2年間同じチームで活動していましたが、A校の人数が増えたので単独でチームを結成することになり、チームメイトと離れ離れになってしまうことがあります。子供の教</p>

	<p>育の面から、この方法で良いのかという声があると聞いています。</p> <p>団体スポーツの部活動は、特に不安定な状況に置かれています。将来を見据えたときに、やや極端な例になりますが、公立中学校4校で1チーム作って活動した方が良いのであれば、期間を定めてやってみるという方法もあるかと思います。</p> <p>運動部であれ文化部であれ、それぞれについての将来像を見据えて方針を定めていく必要があります。子供達は3年間学校へ通うわけですから、それを見据えてどうあるべきかといった話は、既に出ていますか。</p>
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	<p>合同チームにつきましては、大会の参加規定というものがございまして、人数が揃わない場合は別の学校とチームを組んで大会に参加するといったことが定められております。今後、その規定についても検討する必要があると思いますが、現時点では規定に基づいて実施しております。</p> <p>ですから、不安定な状況ですし、自分の進学する中学校に部員が少ないので心配ですという声も、実際に聞かれます。</p>
市長	<p>その規定は、おそらく中体連（日本中学校体育連盟）が決めているものですよね。規定と現場とのギャップについて話題になったり、おかしいのではないかといった声は上がっていますか。</p> <p>本来、子供達の教育にとってはどうあるべきなのかという観点から議論する場合に、中体連のルールに従うことが前提なのか、中体連のルールも変えた方が良いという話になるのか、その点は大切だと私は思います。</p> <p>規定についても、現場から見つめ直していく必要があると思いますが、そのような議論は起きているのでしょうか。</p>
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	<p>自分のチームが参加できるか分からない状況になった時に、規定はおかしいのではないかという声は聞かれます。それが大きな動きになっているかどうかという点については、現時点では把握できておりません。</p>
教育長	<p>中体連は、とても大きい存在だと感じています。それぞれの学校の立場からすれば、その規定に従っていくしかないということだと思います。目の前の子供達を活躍させるためには、隣の市町であっても一緒にチームを組むといった状況ですので、市内で完結する問題ではなくなっています。</p> <p>大会に参加できるかどうか、また、大会の回数なども基本的には中体連で決まりますので、個別には声を上げていると思いますが、大元のところが体制を変えないと難しいです。最近では、クラブチームも大会に参加できるなど、規定も変わりつつあるようです。</p>
市長	<p>家庭の事情等で、クラブチームに参加できない子供達もいますからね。クラブチームには参加できないけど野球をやりたい、サッカーをやりたいという子供達もいますから、そういった希望が</p>

	<p>できる限り叶うようにしなければなりません。</p> <p>先生方の働き方改革からは話題が離れましたが、部活動の地域移行に当たっては、1つ1つのピースごとに最適化するにはどうしたら良いかと考えていくしか無いのかなと感じています。その前提として、今井委員がおっしゃるように、現場の先生方と子供達と保護者を含めて、将来像に対しての議論をしっかりと行った上で進めていく必要があると思っています。</p> <p>現状では、それぞれの部活動で四苦八苦しなながら活動を維持しているわけですが、本当にそれで良いのかということがあると思います。私からお話ししましたが、今の話題の続きでも結構ですし、他の話題でも結構です。皆様からご意見はございますか。</p>
高橋委員	<p>児童生徒の数の減少は、自治体だけでは解決が困難な問題です。本庄市は、市長をはじめ皆様方の努力によって、人口減少を緩やかにすることができていると思います。特に、世帯数の増加については努力の成果が表れていると思います。</p> <p>最近、東京都から転入された方が、あるスポーツクラブに入りました。冬のスポーツですので、夏はどうしているのか聞きましたら、夏は自転車に乗っていると話されていました。</p> <p>資料2-2の最終ページに「休日の部活動の地域移行に係る要素(例)」と書かれており、中央に「指導者の確保」という欄がございます。この欄には、「人材バンク」、「人材の掘り起こし」といった言葉があります。転入されてきた方の中にも、日本スポーツ協会の指導者の資格を持った方や、教員として働いていた方、企業でスポーツマネジメントや人材管理を担当されていた方がいるかもしれません。</p> <p>部活動の地域移行に当たっては、様々な経験をされた方々を生かしていくことが大切です。その観点では、市から積極的に情報を発信すべきだと考えています。市民に対して、スポーツ指導者の資格を持っている方、あるいは、こういったスポーツの指導をしてみたい方はいらっしゃいませんか、といったアナウンスをしてはいかがでしょうか。</p> <p>人材の掘り起こしをするには、市から働きかけることが重要だと考えますので、ぜひともご検討いただければと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。大変重要なご意見をいただきました。これは、先生方の働き方改革にもつながるテーマだと思いますが、私からも少し感じていることとお話しさせていただきます。</p> <p>地域における人材の掘り起こし、また、今井委員からご質問がありました指導者に対する研修、それに加えて、状況に応じた個別のマッチングが大切だと考えています。マッチングをするには、全体のコーディネートを考える必要がありますから、どうしてもマンパワーが要ります。</p> <p>国の方で、コーディネートをする人材に対する人件費等を補助するような動きがあると聞いておりますので、そういった制度は</p>

	<p>活用したらいかがかなと思います。</p> <p>また、どんな方にコーディネーター役をお願いするかということも大変重要です。幅の広い考え方ができる方を選ぶ必要があると思いますので、人材発掘も含めて、学校の状況等を理解しながら進めることができるコーディネーターを養成することが非常に大切だと感じております。事務局から、コメントがありましたらお願いいたします。</p>
<p>事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)</p>	<p>部活動の地域移行に当たって、先生方の働き方改革という点は考えていかなければならない課題ですので、人材の掘り起こしは非常に重要と捉えており、関係各課と協力しながら進めていきたいと考えております。</p> <p>アンケートの中には兼職兼業についての記述もありますが、それだけでは人材は足りませんし、先生方には人事異動があるため、地域の指導者と言い切れるかという点も考えていく必要がございます。人材の掘り起こしに加えて、先程、市長がおっしゃったように全体をコーディネートする役割も非常に重要と捉えております。</p> <p>現状としましては、部活動の外部指導者が20名以上いらっしゃいます。また、部活動指導員は現時点で3名いらっしゃいまして、来年度は4名となる予定です。部活動指導員は、顧問に変わり単独で指導を行うことができ、単独で引率することもできます。まずは、外部指導者や部活動指導員を増やすことにより、先生方の負担の減少につなげたいと考えております。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>概要は今のご説明の通りだと思いますが、スピード感も重要だと思います。会議を開いた後に行動を起こすのではなく、まず市の方から働きかけて、こういう指導者を募集していますのでご協力いただけませんかというような、小さな拾い上げから始めたらいかがかなと思います。</p> <p>ただ今ご説明いただいたように、部活動において教員以外の指導者を立てることも大切ですが、例えば、ボール拾いなどのお手伝いをしてくださる方を募集しても良いと思います。なおかつ、誰でも良いわけでは無いということは、皆様からお話が出ている通りでございます。</p> <p>日本スポーツ協会のスポーツ指導者は、スポーツハラスメントについても教育を受けております。本庄市にもスポーツ指導者がおそらく2桁の人数でいると思います。私自身はスポーツドクターですが、本庄市にもスポーツドクターがおそらく10人弱いると思います。</p> <p>人数の把握は簡単ではありませんが、日本スポーツ協会のホームページには、スポーツ指導者の都道府県別の人数なども掲載されていますので、そういったものを参考に人材の掘り起こしを進めてもよろしいかと思います。ともかく、スピード感を持って始めていただきたいと思います。</p>

市長	<p>まず、現状をしっかりと把握しておきましょうというご指摘ですね。スポーツ指導者の資格がある方などをあらかじめ把握しておくことは大切だと思います。資格がある方は手を挙げてくださと呼びかける方法もあるでしょう。</p> <p>スポーツの場合は、スポーツ指導者の資格などを通じて人材を把握することができると思いますが、文化系の指導ができる人材も地域にはたくさんいるのではないかと感じています。</p> <p>文化部というと吹奏楽部か美術部といったイメージがあるかもしれませんが、より幅広い活動をしてみたいというお子さんもいらっしゃるでしょう。地域で、華道や茶道の免状を持っているけれど、生かす場所がないという方もいらっしゃると思います。珍しい活動としては、剣舞というものもあります。</p> <p>野球部に入っているお子さんが同時にサッカー部に入るということは、これまではあり得ない話でした。ただ、今後のことを考えると、野球もサッカーもやっている、あるいは、吹奏楽も機械体操もやっている。そういったあり方を、もう少しバラエティーに富んだ形で提供してはどうかという意見もあります。</p> <p>また、中学生や高校生の頃は、1つのスポーツに打ち込むより他のスポーツもやってみた方が、体力的な面や運動神経の発達には良いという話もあります。</p> <p>これまでの部活動の伝統として、1つの種目に一生懸命に取り組むことが良いという考えがあるような気がいたしますが、未来志向で変えていくことも大切だと思います。</p> <p>高橋委員のご意見を聞いて、これからどうするかはともかくとして、どんな人材がいるかという掘り起こしは、今からできることだと感じております。ぜひ、事務局でも検討していただきますようお願いいたします。</p>
落合委員	<p>関連でお話しします。個人情報になりますので確認は必要ですが、例えば、地域のスポーツ少年団などに関わっている方の情報をいただくことができれば、地域の人材の掘り起こしにつながると思います。おそらく、スポーツ少年団の指導者の氏名などは、市で把握されていると思いますので、そういった情報を捉えながら準備することも必要かなと感じます。</p> <p>どのような人が指導しているかといったことが分かれば、スポーツの育成に関わる人材についてはある程度把握できるのではないかと考えますので、情報を調査・精査していただければと思います。</p> <p>また、スポーツに関しては、国内外においてトップレベルで戦うためには、小さい頃からある程度進むべきレーンが引かれているような状況があります。ですから、指導をしてくださる方が保有している資格等については、ベーシックな資料として揃えておくが良いと思います。最終的には、指導者を決めて依頼することになるでしょうから、決定するための資料を集めておくことが重</p>

	要だと思えます。
市長	事務局に尋ねたいことは、現状で、外部指導者に対する教育委員会としての位置づけはどうなっているのかということです。先生方の指導を補う形で、教育委員会が積極的に依頼しているのか、それとも、それぞれの学校ごとに校長先生が依頼しているのか、その辺りを教えていただけますか。
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	顧問が技術指導の面で不安がある場合に、外部指導者に技術指導を依頼したいということで、学校が指導者を探して、教育委員会は学校からの要望に応じて認める形になっております。
市長	教育委員会としては、学校がこの方に外部指導を依頼したいという申請を受けて認めるような仕組みになっているということですね。校長先生や顧問の先生が、指導していただけたらいい方を探して依頼しているという状況ですね。
落合委員	1週間に何日、何時間程度指導するといった任用に対する決まりはありませんか。
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	年間の指導日数の規定はございます。1日当たり2時間程度と決まっております、年間のはっきり日数を申し上げることができないのですが、学校ごとに何日以内という規定がございます。 例えば、学校の中で外部指導者を依頼しているのが1つの部活動だけであれば、全ての日数を指導に充てられますし、2つの部活動であれば指導日数を半分ずつにするなど、学校の中で調整していただいております。
市長	指導力の問題もあれば、先生方の働き方改革に向けた課題等もある中で、このまま各学校が外部指導者を募るような体制を続けていて良いのか、それとももう少し全体的な制度を構築する必要があるのか、その辺りはどう考えていますか。
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	外部指導者を依頼する上で、指導日数や時間については改善の余地があると感じています。と言いますのは、実際には、外部指導者の方が規定以上に指導していただいている状況があるのではないかと感じておりますので、その点については改善が必要と考えております。また、人材の募集は教育委員会が積極的に実施しても良いのかもしれませんが。 ただ、最終的なマッチングの部分については、顧問の方が指導しにくくなってしまいう状況がありますと子供達にとってプラスにはなりませんので、学校が決める必要があると考えております。
市長	最終的には学校が決めるということは、当然だと思えます。子供達のための部活動ですから。人材の募集については、もう少し力を入れても良いのではないかと考えているということですね。その他に、皆様からご意見等ございますでしょうか。
落合委員	先日、気になることがありました。おそらく部活動の試合等のために乗合で移動するのだと思いますが、土日の朝8時半頃に児玉中学校の駐車場で、保護者が生徒達を車に乗せている様子を見

	<p>かけました。</p> <p>これは、何かあった時に大丈夫かなと感じました。試合中の事故などは保険に入っていますが、移動中も保険の対象なのでしょう。試合等での移動については、事務局としてはどのように把握していますか。以前は、バスで移動していたような気がしますが、今は個別に移動しているのですか。</p>
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	<p>中体連の公式の大会については、市の方でバスを用意しており、保護者の車や顧問の車は使いません。バス又は公共交通機関、自転車等で移動しています。</p> <p>それ以外の大会や練習試合等については、移動手段はそれぞれに任せておりますが、バスを借りることはほとんど無いと思います。保護者会費等を集めて、バスを借りている部活もあるかもしれませんが、それもなかなか難しいと思いますので、公共交通機関や自転車、あるいは保護者の車に乗合で移動することになるかと思っております。当然、保険等は各部活動の保護者会等で入っていると思っております。</p>
市長	<p>今のお話ですと、合同チームで試合等のために移動する場合は保険の対象になっているようですが、合同チームで練習のために移動する場合も保険の対象になっているのでしょうか。</p> <p>合同チームは練習するにも移動することが多いと思いますが、その辺りはどうなっていますか。学校ごとに保険に入って、対応している状況でしょうか。</p>
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	<p>練習場所までの移動は、基本的には現地集合になっていると思っておりますので、保護者の方がそれぞれ送迎していると思っております。</p>
市長	<p>自転車で行ける範囲なども、それぞれが考えているということですね。分かりました。ありがとうございます。その他に、皆様からご意見等ございますでしょうか。</p>
岡崎委員	<p>部活動の地域移行は、時代の流れとしては必要だと思っております。他の自治体の例で、地域移行を実施したら部活動に参加するお子さんの人数が半分に減ってしまったということも聞きます。</p> <p>原因は家庭の事情など色々あると思っておりますが、良かれと思って実施したにも関わらず、結果として半減してしまったということだと本末転倒だと思っておりますので、それぞれの部活動ごとの事情に応じて、1つずつ丁寧に進めていくことが大切だと感じます。</p>
市長	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。今度は子供達を対象にアンケートを実施するというご提案ですが、今後の方向性について現時点で決まっていることがありましたら、事務局からお話いただけますか。</p>
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	<p>教職員にアンケートを実施しましたので、今後は、肝心の子供達がどのように考えているかということについて、アンケートを実施したいと考えております。中学生は当然対象といたしますが、</p>

	小学生は何年生から対象にするか、また、質問項目等につきましてもこれから検討して参ります。
市長	保護者についてはどうですか。
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	保護者の中にも様々なお考えがあると思いますが、まずは子供達の意見を知りたいと考えており、現時点では保護者を対象としたアンケートの実施は予定しておりません。
市長	小学生の場合は、お子さんに率直に答えていただいても良いと思いますし、保護者の方のご意見も入ると予想するのであれば、保護者の方と一緒に考えながら答えていただいても良いと思います。その点については、既に話し合われていますか。
事務局 (学校教育課 櫻井指導主事)	そうですね。他の自治体の例を見ても、保護者の方に意見を聞いている所と聞いていない所がありますので、その点については慎重に検討したいと考えております。
市長	<p>子供達を対象としたアンケートの中に、様々な意見が出てくる気がしています。例えば、スケボーをやりたい、eスポーツをやりたいという意見もあるかもしれません。</p> <p>部活動には教育的な意味合いが大きく、先程、教育長がおっしゃったように、学校の授業とはまた別の教育的な効果があります。以前は、必ず部活動に入ることになっていたと思いますが、そこには教育的な意味がありました。クラブスポーツやお稽古事をがんばっているお子さんが、ボランティア部に入ってボランティア活動をするということも、教育的な効果があったと考えています。</p> <p>部活動の地域移行に当たっては、これまで作り上げてきた部活動の形をどのように再生して、子供達の教育につなげていくかという地域の知恵が問われていると感じます。とても大変なことです。岡崎委員がおっしゃったように、1つ1つのことを将来を見据えて形作っていく作業になろうかと思っています。</p> <p>個人的な話になりますが、私は本庄市体操協会の役員をしています。本庄南中学校には体操部がありますが、本庄東中学校や本庄西中学校の生徒も、機械体操ができる仕組みがあっても良いのではないかと感じています。</p> <p>このような個々の事例がたくさんありますので、総合的にコーディネートできる人材が必要です。今の人員体制の中で、コーディネート役も行うことは難しいでしょうから、国の補助金等を使うことも含めて考えていく必要があると思います。</p> <p>私からお話ししましたが、その他に皆様からご意見等ございますでしょうか。</p>
高橋委員	<p>子供達を対象としたアンケートについて、ご提案させていただきます。</p> <p>学校において、子供達に1人1台端末を支給していただき感謝申し上げます。端末がありますので、あまり設問の内容を難しく考えず、例えば、キーワードを提示して、このことについてどう</p>

	<p>という意見がありますかという聞き方でもよろしいかと思えます。アンケートを2回、3回と繰り返して、子供達から様々な意見を吸い上げていくということが大切だと考えます。</p> <p>私は、本庄中学校の最後の卒業生でございます。私が通っていた頃には、体操部は県大会で何度も優勝しました。私の同級生は3回連続で優勝しております。部員は多くありませんでしたが、指導者や保護者、自治体のサポートによって輝かしい成績を収めました。</p> <p>今、子供達の人数が減少しているからこそ、部活動の地域移行に当たって、うまく工夫するためにはどうしたら良いかということ、事務局の過度な負担にならない範囲で考えていただけたらと思えます。</p> <p>本日の資料の、アンケートの自由意見について、AIを利用してキーワードをピックアップすれば、先生方の関心のあるキーワードを簡単に分析することができます。それに関連して、子供達の関心のあるキーワードを分析するといったことが行政の役割になると思えます。ぜひとも試行錯誤を重ねながら、なるべく早く意見を吸い上げていただければとご提案申し上げます。</p>
市長	<p>貴重なご提言をいただき、ありがとうございました。ぜひ参考にしていただければと思えます。</p> <p>子供達の本音を引き出すと同時に、先生方にも知恵を絞っていただきたいと思えます。先生方は子供達が好きなので、子供達の意見を見れば、色々なアイデアが出てくるのではないかなと思えます。</p> <p>教育長から、何かございますか。</p>
教育長	<p>皆様のご意見を伺って、将来像を持って、そこに到達するために何をやるかということが大切だと思いました。市長からもお話がありましたが、個別最適化と言いますか、部活動を取捨選択することも必要になるかもしれません。1つ1つの部活動について、個別最適あり方を見つけていくことになるかなと、議論を聞きながら思いました。</p> <p>教育委員会としては、前に進めていかなければならないですし、一方では、教育委員会だけではできないことだと感じています。これからもどうぞよろしく願いいたします。</p>
市長	<p>ありがとうございます。教育長がおっしゃったことに、総合教育会議の意味があると思えます。</p> <p>先日、日本スポーツ会議という場で基調講演させていただく機会がございましたが、「市民一人1スポーツ」という柱から、色々な枝葉が出てくると感じました。スポーツレクリエーションを通して、健康づくりにも役立ちますし、子供達の健全育成にも役立ちますし、地域の輪を作ることに役立ちますし、様々な展開することができます。部活動の地域移行に市として取り組むことが、教育のみならず、まちづくりにつながると感じております。</p>

	<p>地方の過疎化が進んでいる地域では、部活動の選択肢が非常に狭まっている状況があります。それに比べると、本庄市は地域を挙げてがんばれば、まだまだ生かせるものがあります。非常に困難な部分がたくさんあると思いますが、皆様方のご支援・ご協力をいただく中で、より良い方向が見出せればと考えておりますので、改めてよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、本日の議事はこれで終了とさせていただきます。円滑な議事進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。進行を事務局へお返しいたします。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>皆様には慎重審議いただきありがとうございました。</p> <p>最後にその他といたしまして、今後のスケジュールについてご説明いたします。本日の議題である「次期教育大綱(案)」につきましては、本日お示しした最終案の通り策定いたします。</p> <p>なお、今年度の会議につきましては、本日で終了となります。皆様には、大変お世話になりました。来年度の会議につきましては、日程が決まり次第お知らせいたします。引き続き、よろしくお願いいたします。その他につきましては、以上でございます。</p> <p>以上をもちまして、本日の日程をすべて終了いたします。本日は、ありがとうございました。</p>

市長

吉田 紹解

教育長

下野戸 陽子